

20140917 締めあいさつ

◆株式会社テプコシステムズ

配電システム部 配電設備G 渡辺 壮史氏

◆ごあいさつ

御指名に預かりました、テプコシステムズの渡辺と申します。よろしくお願
いします。僣越ながら、諸先輩方を差し置きましてご挨拶させて頂きたいと思
います。

先程ご紹介頂きましたが、私は今年度の5月から7月、第14期BA&システ
ムコンサルタントの育成という研修を受講させて頂きました。受講生の大半の
皆様がそうだと思うんですけども、毎週のように怒涛の課題を出されまして、
日曜の夜は泣く泣く、一服しながら課題をこなしていました。

弊社は、冠が「テプコ」と付くので、皆さんお察しの通りなんですが、東京
電力のグループ会社になります。3月11日の東日本大震災以降ですね、いろい
ろと報道されていますように、いろいろな形でバッシングされ、社内の体制の
方もいろいろと大きく変わっている現状でございます。

多くの仲間の去る姿も見てきましたし、これからまた新しい事を開拓してい
かなくてはいけないという新しい気持ちの芽生えも体験しておりますが、未だ
に、完全にまだ元気を取り戻している状況ではございません。

私自身、今年度管理職になっているんですけども、これまでの3年間を振
り返りまして、この会社いったいどうなるんだろう？・・・と、そういった気
持ちでモヤモヤと過ごしてきた訳です。

しかし、管理職に切り替わった今年度の気持ちとして、周りを引っ張ってい
かなくてはいけない自分が、こんな中途半端な気持ちで本当にいいのか？とい
うところでもごく悩んでいました。

そんな状況の丁度良いタイミングでこの5月からこの研修の方を受講させて
頂きました。また、この研修とは別に個人的に、オンラインでの大学講義の方
にも行っております。この2つの研修が、私に大きな道を開いてくれたとい
うか、大きな転機になりました。

2つの研修の中で共通するのが、「言葉にすることの大切さ」です。実際にいろいろアウトプットすることで、周りの皆の気持ちを鼓舞するだとか、自分自身の気持ちを変えるだとか、そういうところを学ばせて頂きました。

結果として今までモヤモヤとしていた気持ちが、ほわっと晴れた10回の研修になりました。

黒岩先生を始め受講生の皆さんに感謝したいのは、第6回の講義の課題で出された「自社のビジネスモデルの現状と課題」の中で、まさに我々グループ会社が置かれている現状が非常に厳しい状態で、新規の開発等が我々の方に直接出されるような状況ではなくなったことを紹介しました。

そして、「こういった現状をどういう風に変えて行けば良いのか？」というような質問を私の方でしたところ、第7回の講義の方で黒岩先生にその課題を取り上げて頂きまして、「皆さんだったら今のこの状況をどういう風に変えていくのか？」というような課題を皆さんに出して下さったんですね。その時に、皆さんから叱咤激励を頂きました。一番心に残っていることは、「今の状態は決してピンチではなくて、チャンスだよ」と言われたことです。「今だからこそ何でも出来るんじゃないの？」という言葉を頂きまして、そこで大きく自分自身の心がパッと晴れた瞬間になったと感じています。

正直申しましてオンラインの大学自体は、スキルアップを目指して例えば転職ですとか起業にチャレンジするとか、まあいろいろと自分の幅を広げる為に活動してきました。今は「この会社できちんと何かを残せるのではないか？」ということを感じています。この会社で周りを引っ張っていけるようなそんな存在になりたいという風に強く感じている次第です。

本当に短い期間ではあったんですけども、黒岩先生始め受講生の皆さんのおかげで、ここまで自分の気持ちが大きく、現状を打破できるような、そんな機会になったことを本当に感謝しております。ありがとうございました。

最後になりますけれども、このような大きな会にお招き頂きまして、本当に黒岩先生、それからスタッフの皆さん本当に感謝致します。このような場が継続的していくことを私の方も願っておりますので、今後ともよろしく願い致します。ありがとうございました。

(了)